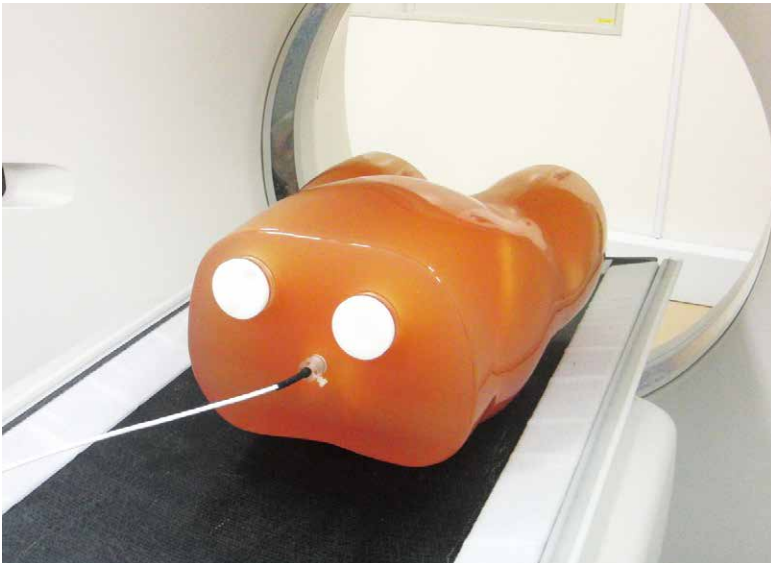


コードNo
41910-000 ※収納ケース付

監修・指導：国立がん研究センター中央病院



**線量と画質の同時評価が行えるファントム
タギングやクレンジング、撮影手順、
画像診断のトレーニングに**

特長

- 内部に模擬ポリープが作られた模擬腸管は、下腹部ファントムの上行結腸、下行結腸、直腸の場所にセットすることができます。
- 4種類の模擬腸管には、それぞれ内壁に6つのターゲットがあります。陥凹型は腫瘍発見感受性、隆起型は体積測定の精度を評価することができます。
- 模擬腸管に造影剤を入れて、タギングの評価を行うことができます。
- CTDI測定のためのペンシル型の線量計を挿入できます。

仕様

材質：軟組織部／ポリウレタン樹脂 (比重1.06)
骨格／エポキシ樹脂 (比重1.31)

構成

下腹部ファントム (模擬腸管挿入孔、線量計挿入孔、椎体、骨盤、大腿骨)
模擬腸管4種 (陥凹型2種、隆起型2種)
模擬腸管挿入孔用ロッド
線量計挿入孔用ロッド
アクリル製水槽容器
撮影データ (DVD)
収納ケース



アクリル製水槽容器

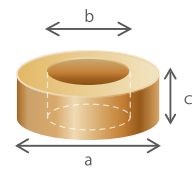
評価項目

- ・仮想内視鏡検査
- ・ターゲットの可視化、検出、寸法の計測
- ・大腸CT検査の撮影線量の検討
- ・適切な造影剤の濃度の検討

陥凹型2種



仮想内視鏡表示



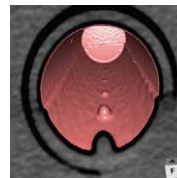
陥凹型I：直径固定 単位:mm

a: 外径	b: 内径	c: 高さ
φ7円形	φ3.5円形	2
		1.5
		1
		0.5
		0.25
		0.15

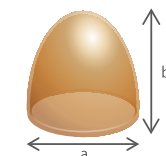
陥凹型II：高さ固定 単位:mm

a: 外径	b: 内径	c: 高さ
φ10円形	φ5円形	1
φ7円形	φ3.5円形	
φ5円形	φ2.5円形	
φ3円形	φ1.5円形	
φ2円形	φ1円形	
φ1円形	φ0.5円形	

隆起型2種



仮想内視鏡表示

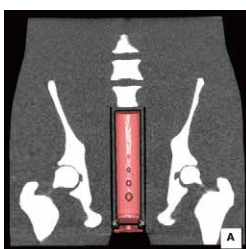


隆起型I：直径固定 単位:mm

a: 直径	b: 高さ	体積 cm ³
φ10円形	7	0.3663
	5	0.2617
	3	0.157
	2	0.1047
	1	0.0523
	0.5	0.0262

隆起型II：直径・高さ比固定 単位:mm

a: 直径	b: 高さ	体積 cm ³
φ10円形	10	0.5233
φ7円形	7	0.1795
φ5円形	5	0.0654
φ3円形	3	0.0141
φ2円形	2	0.0042
φ1円形	1	0.0005



仮想切開表示